

# ON AIR

NO. 121

放送大学通信 オン・エア

発行月 2016年2月

発行 放送大学

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11  
043-276-5111(総合受付)



## CONTENTS

学習センター所長座談会	1
面接授業紹介	5
まなびと学習センターをめぐる	8
研究室だより	10
学習センターだより	11
群馬学習センター 学園祭&記念行事レポート	12
BSラジオ番組選局操作ガイド	13
退任のごあいさつ	14
2016年度開設・改訂科目紹介	16
インフォメーション	20

学習センター  
所長座談会

## 科学的思考を育む

櫻井 敬久 山形学習センター所長(宇宙線・放射線物理学)

北村 潔和 富山学習センター所長(運動生理学)

岡野 幸雄 岐阜学習センター所長(生化学)

司会  
関根 紀子 准教授(運動生理学)

情報過多の現代社会にあって、情報を科学的に捉え取捨選択することの重要性が高まっています。そこで今回の座談会は、理系の、山形・富山・岐阜の各学習センター所長を放送大学本部にお迎えして、関根先生の司会進行のもと「科学的思考を育む」のテーマでお話を展開していただきました。



(右上)北村 潔和所長、(右下)岡野 幸雄所長、(左上)関根 紀子准教授、(左下)櫻井 敬久所長

※本文中は敬称略とさせていただきます。

### 科学的思考を育む実験・観察 そのニーズに応えるために

**関根** 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。放送大学での“学び”の目的の一つに「生活に根ざした教養をめざす」があると思いますが、その生活には誤った情報、偏った情報も多々見られます。そこで、情報を正しく理解する、科学的に見極める目を養うにはどうすればよいか、について話を進めたいと思います。まずその前提として、科学的な事例に多く接し、観察や実験を通して日頃からトレーニングを積んでおくことが大切なのは論を俟たないと思いますが、各学習センターでの実情はいかがでしょう。

**北村** 実は…梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞が決定しましたが、富山ではつい2、3日前にスーパーカミオカンデ実験代表者の鈴木洋一郎先生に面接授業「素粒子で探る宇宙」をお願いしたばかりです。多くの学生が、それも半分以上が富山以外から集まり大盛況でした。面白かったのは、鈴木先生が「分からないことを教えます」と切り出されたこと。すると、学生の知的好奇心にたちまち火が点き、どうしてですか、なぜですかの質問の山。とても有意義な2日間となりました。

**関根** 分からないから知りたい、は“学び”の原点ですからね。また、学生にとっても教職員にとっても今いちばんホットな話題です。櫻井先生も宇宙線

がご専門ですが、先生にもさぞや質問が…。

**櫻井** いえ、今年4月に所長を拜命したばかりで、放射線に関する公開講座を2回ほど持った程度です。それもノーベル賞報道の前に。また、私ののは梶田先生の領域と違う、年輪に取り込まれた宇宙線の痕跡を測定し古代の宇宙を読み解くといったものですから。ただ、2回目の講座「放射線と霧箱」を行って思ったのは、やはり実験や観察への関心は高いということでした。その実験は、簡単なキットを使って霧箱を作り、放射線の飛跡を観察するというものですが、学生の皆さん、初めて見たと感動しておられました。

**岡野** 岐阜では、栄養学を学べる大学に出向き、糖尿病や食物アレルギー症の人の食事療法について実際に調理しながら学ぶ、という面接授業はありますが、自然系の授業で幅広く実験や観察を行うというのはなかなか難しいですね。講師の先生方が所属される大学の施設を実験室として使えばいいのですが、そうなるとお金もかかります。この食事療法の授業でも材料費は徴収しています。

**櫻井** 講義室では水を使う実験はできません。そういう場所の問題や機材等の準備の問題、予算やティーチングアシスタントなど人手の問題も絡んできます。

**北村** 地元大学の施設を利用するにしても、面接授業の行われるのは主に土・日で、それが障

害になることもあります。ただニーズはある。鈴木先生の授業を受講した学生が言います。難しかったけれど面白かった、次はスーパーカミオカンデに出かけて講義を受けたい、と。移動手段や安全確保などクリアすべきことは多いですが、折角ですから検討中です。東京文京学習センターでは、国立天文台に出かけて行く面接授業が人気と伺っています。

**櫻井** そう、ニーズは高い。だから工夫次第では…ある先生は砂の入った水槽を持ち込んで液化化現象の実験をされた。地元の先生に講師をお願いする際も、前もってできたらこういう実験を入れて貰えませんか、と。山形学習センターのあるビル4階には県の産業科学館があり、館長さんが3Dプリンターに

お詳しいので、タイアップして来年度から関連した授業に応用を、と考えています。

**関根** 地域の資源、人とのコネクションを最大限に活用する…所長の腕の見せ所ですね。ところで鈴木先生の授業に県外の学生が多く受講されたとのこと。私が八戸で面接授業を行った時も、東北以外の地からはるばる参加された学生がいらっしゃった。皆さん、各学習センターの開設科目をチェックしてもらえるようです。

**岡野** 岐阜では、飛騨高山の森を散策しながら生態系を学ぶ、といった授業に県外からよく集まります。やはり座学だけではない、どこかに出かけ観察しながら、というものに人気があるようです。

**櫻井** 山形では出羽三山信仰とか山形城などに関する授業に他の学習センターから多く参加されます。実際にその場所へ出かけて、羽黒山では宿坊に1泊して山形大学の先生の講義を聴く、というものですが、そういう体験型授業へのニーズは高いですね。

**北村** 私も所長になってまだ半年、専門の健康・体力づくりに関する自主セミナーを数回持っただけですが、話ばかりでなく実際に身体を動かすものを、という要望が出ています。学生の方々は30~80代と年齢層が広く難しい面もありますが、何とか応えたいと考えています。

## ■ グラフ作成・読解能力を高め 科学的思考の訓練を。

**関根** 実験は難しい、けれど先生方の工夫次第では、そして地元の資源、人とのつながりを活用して、というお話でした。ところで、実験では現象を定量的に捉えるためのグラフ作成能力が問われますが、その能力に疑問符の付く学生の方に出会いま

す。目盛りが均等でなかったり、円グラフの中心がズレていたり…。テレビや雑誌、広告などでは都合の良いグラフを示して自説を通す例も見かけます。そのようなグラフに流されてしまう人もいるのだろうと思うのですがグラフ作成の実習を積むことで、“まやかし”を見破る力、科学的なものの見方は養われる



のではと考えます。

**櫻井** 一般の大学でも1年生の中にはグラフの書けない人がいます。そのため、Excelでグラフはすぐ作れますが、私は山形大学にいた時は、意識して学生にはグラフ用紙を使わせていました。実際に手を動かして横軸と縦軸を引き測定値を書き込む。そういう作業を通してはじめて、データの持つ意味や広がりを考え始めるのだと思っています。

**北村** グラフをどう解釈していいかわからない、グラフが書けないという人は結構いますね。前の大学で学生にグラフ用紙を買ってきてと頼んだら、対数グラフを買ってきた。この実験にこのグラフ用紙？と驚いた経験があります。櫻井先生のおっしゃる通り、自分の手で測定値をプロットすることは大事です。例えば、仕事量と心拍数を書き込む。同じ運動をしたのに他の人と違うグラフが現れる。それはなぜか。日頃からスポーツしていたから？何もしていないから？とグラフの読解能力も身につきます。まず、間違ってもいいから自分でやってみることが大切。

**岡野** 実験では再現性がとても問題になってきます。毎回違うデータだと困ってしまう。なぜそうなるのか、条件や方法に間違いはなかったか。再現性が確認できれば、予測を立てることができる。そういう一連の作業が論理的・科学的思考への訓練になります。

**関根** そうですね。自分で測り、グラフ化し考察する、という研究と同じ流れを繰り返すことで、少なくともこのデータは怪しいぞ、といった気づきは養えるのでは、と思います。ただ残念ながら、放送大学では、グラフ作成について、ましてや再現性とか外れ値とかについて触れる科目はあまりありません。卒論や修士論文等を見ている、図表をもっと活用すれば、と思うことも多々あるので、そういう科目もあってよいかと思います。統計学のような話まで行くと高度になるので、基礎的なものを。2日あればできる気がします。もっとも学生が集まるかは別ですが…。

**櫻井** 山形では面接授業「レポート・論文の書き方」を基礎科目にしています。その場ですぐ添削するため講師の負担は大きいのですが、認知度が上がってきており、他の学習センターから参加される方もいらっっしゃいます。その「書き方」の一環とし

て、「グラフの書き方」みたいな授業があってもよいかも知れません。

## 科学的思考を育むために 卒業研究で「まとめる」力を

**北村** その「レポート・論文の書き方」に参加された学生から、とても勉強になった、富山でもできませんか、と注文されています。そういう背景もあって、富山では卒業研究にチャレンジしましょうと学生の方に呼びかけています。せっかく得た知識



北村 潔和 所長

を体系化して卒論にまとめませんか、と。

**岡野** 卒業研究というのは大学での“学び”の集大成です。ぜひチャレンジしていただきたいのですが、一般の大学では先生がテーマを与えるのに対して、放送大学では多くの学生が自分でテーマを決めています。結構大変じゃないかな、指導する先生にとっても。ただ、体系化してまとめるという作業は、自分の頭で考えるトレーニングになると思います。

**関根** 卒業研究は科学的な目を養う絶好の機会なのですが、チャレンジするにしても期間が短すぎますね、実質半年です。また、指導教員として本部の私たちをご指名いただくのは光栄なことなのですが、メールのやりとりだけではなく実際にお会いして、となると、遠くからの移動が伴うといった物理的・時間的な制約が出てきます。そういうことが重なることが予見される場合は、内容は素晴らしいのに期間内には無理です、と指導をお断りせざるを得ないこともあります。

**岡野** ですから、申請書を出す時点からもう始まっていると言ってもいい。指導はなるべく近くの先生にお願いするなどして始めないと間に合いません。岐阜では卒業研究をしたいという方々は看護師に多い。学士看護学の取得を学位授与機構に申請するにはレポート提出が求められますが、その際に卒論が役立つからです。そのためなるべく早い時期から近隣大学の関連分野の先生に指導をお願いしています。

**北村** 富山では、入学された今から準備しましょう、そのためいつでも相談に乗りますよ、と。指導教員

についても、我々にもネットワークがありますから近くで紹介できますよ、と。

**関根** それでも「大変だから」と尻込みされる方が多い。必修でもありません。

**北村** そういう“噂”が立っているだけです。卒業研究を最初から目指す人、卒業したけれどやはり挑戦したいと入り直す人と様々です。確かに卒業に必要な単位を揃える方が自分で考えなくて済むので楽かもしれませんが、知識だけをいっぱい詰め込むだけではもったいない、折角大学に入ったのだから今から始めましょう、と。…ただ、卒業研究では調査やデータ集めなどが必要になります。そういうことが比較的可能な環境にいる人とそうでない人とは、いざ卒業研究に取り組んだ際の困難さが違ってきます。臨床心理士を目指し大学院入試に臨まれようとされた方の話ですが、研究計画書の相談に乗っていた時、学校や病院関係の方はいい、そうでない自分は初めからハンデがあるのでは、と。卒業研究にチャレンジする際も、選択科目によってはご自身のフィールドを確認する作業が必要かもしれません。



岡野 幸雄 所長

**岡野** 岐阜でも同じようなことが。大学院入試で第1次の筆記試験には受かったけれど第2次の面接で選考から外れた。その方は、なぜ落とされたのか分からない、と。実は合格された方がいらして、こちらの方は研究のできる“現場”を持っておられた。

**関根** 実現可能かどうか選考基準になりますからね。でも修士を目指すのであれば、なおさら卒業研究にチャレンジしてほしいと思います。苦しいけれどやり遂げた、その達成感は、修士論文突破への原動力になるはずですよ。

**櫻井** 卒業研究を通して「まとめる」力を身につける。何が分からなくて何が分かったか。それを人に伝えるためにはどうするか。そういう作業を経なければ知識は散乱したままです。「まとめる」ことではじめて整理ができる、それが科学的思考につながります。そして、修士を目指すならば大きな経験となる、そういうことじゃないでしょうか。

**関根** そうですね。さて、この座談会もそろそろ

「まとめる」時間となったようです。科学的なものの見方を養うには、座学だけではない、いろいろハードルもあるけれど実験や観察が有効で、グラフ作成・読解能力も求められている。そして、卒業研究を通して「まとめる」力が備われば科学的思考はより育まれる、と理解しました。最後に一言ずつ、各学習センターで今後こんなことを進めたい、というお話があれば伺って終わりにしたいと思います。

**櫻井** 実験・観察について言えば、これまで以上に山形県内の大学などとの連携を強め面接授業に反映したいと考えます。加えて、人的交流と言えばよいのでしょうか。センター主催の研修旅行はこれまで名所旧跡巡りみたいなものが多かったのですが、今年は地域興しをされている方々やコンピュータ系の会津大学の学生との交流を図りました。すると感想文に、知的刺激を受けたとの声が多かった。そういう人的交流も進めたい。卒業研究に関しては、宮本副学長が卒業論文よりハードルを一段低くした、卒業レポートのようなものを科目として追加するアイデアをお話されたことがあります。卒業前にそういう科目を履修できれば、科学的思考はより涵養されるのではと思います。

**岡野** 実験・観察もそうですが、「書く」ことは学んだことを身につける重要なアプローチだと考えますが、その訓練があまりなされていないと私も感じています。そういう意味で副学長の提案には私も賛成ですし、岐阜でも学生の「論文のまとめ方」へのニーズは高いので、学習相談に留まらず、面接授業でも機会を与えて充実させていきたいと考えます。

**北村** 同意見です。前の大学では新聞記者の方を講師に招いて「書き方」の指導がなされていました。そういう人的資源も活用したい。もう一つ、面接授業に今以上に工夫を凝らしたい。富山は自然が豊かです。目の前には富山湾が広がり背後には立山連峰が迫ります。また研究施設も多い。そういう地域資源と結びつくことで、学生の“学び”への意欲を高め、大学らしい授業の展開を図りたいと思います。

**関根** 学生の方々にいちばん近いのが学習センターです。これからも学生の方々の声に耳を傾け、生きた教養を互いに連携しながら提供できれば、と思います。ありがとうございました。

# 面接授業へのいざない

—地域学習センターいきいき授業—

面接授業は、全国の学習センターで年間約3,000クラスを開講しています。中でもユニークな面接授業をいくつかご紹介します。



## 全国の面接授業①

### 岩手学習センター

## 妖怪学入門

担当講師/中村 一基(岩手大学特命教授)  
実施日/2015年10月31日・11月1日

水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」や、現在、子どもたちに大人気の「妖怪ウォッチ」の妖怪たちの成り立ちを、中世の「百鬼夜行絵巻」「付喪神絵巻」、江戸時代の「稲生物怪録絵巻」などの絵巻、鳥山石燕「画図百鬼夜行」などの妖怪図鑑などの妖怪画の源流に遡って考察しました。民間に伝承された怪異現象が名付けられ、絵師によって妖怪として描かれる経緯を明らかにしました。その上で、鬼・天狗・河童などに焦点を当て、平田篤胤の天狗論から、明治の新聞の妖怪記事、井上円了の妖怪学の方法を説明、柳田國男の「遠野物語」「妖怪談義」にみる妖怪観、宮田登の「口裂け女」理解など「都市の妖怪」論を考察、その妖怪観を批判止揚する小松和彦の妖怪学を説明、最後に、怪異的な現象から妖怪という存在への形象の問題を、京極

夏彦の「民俗学的妖怪」と「通俗的妖怪」の違いという視点を中心にまとめました。

### 受講者の感想

「妖怪」この魅力的で不可思議なもの、その正体を捕まえる授業でした。「妖怪ウォッチ」「百鬼夜行絵巻」などをもとに平田篤胤や柳田國男、水木しげるなど豊富な資料を駆使、日本人の妖怪観が説き明かされました。日本人の精神史、文化史的側面も学べ、先生が早池峰山麓の民宿で座敷わらしに会った話も興味深いものでした。(細野龍彦さん)



手振りを交えて熱演する中村先生

## 全国の面接授業②

### 秋田学習センター

## 新聞記者の文章(術)

担当講師/高橋 康弘(秋田大学副理事)  
実施日/2015年10月31日・11月1日

土曜日の夜。翌日も続く講義のことを考えていたら、胸が苦しくなってきた。そう、私はかつて経験のない緊張に包み込まれていたのである。

原稿用紙1枚。400字の世界にどれだけの「言葉」を盛り込むか。そんなことを考え、実際に原稿用紙に向き合うことを試みる講義だった。

「誰に何を伝えたいのかを意識する」

「書き始めの数行を懸命に考える」

限られた時間で、伝えるべきことはこの2点だけだった。皆で見出しを考えたり、論説を合作したり。エッセーも書いた。その中で、文章を書く作業は考えると同意語で、文章にはその人の生き様が映し出される、ということ逆を教わった。「知」を求め、挑む人たちと向き合う迫力。世代も幅広き方々の文章を読ませていた

だき、涙腺は心地良いぐらい緩んでいた。

### 受講者の感想

先生が記者として出会った方々との興味深い話や記事を通して、情報を扱う責任の重さと、新聞記者の世界を感じることができました。

現役アナウンサーの方の報道に対する思いなどに触れられたことも貴重でした。どのような考えも否定せず、その人の大切な感性だと認め、生徒一人一人の良さを引き出す、愛情深い講義でした。(金野志穂さん)



地元アナウンサーも講義のゲストに



## 動物の世界から学ぶ

担当講師/藤山 静雄(信州大学名誉教授)  
実施日/2015年11月7日・8日



ヒトは動物の一員ですが、他の動物にも予想をはるかに超えた不思議があり、知恵があります。その世界を知れば知るほど面白く、また驚きを感じます。

この講義では、生態学の視点から動物の世界をテーマ別に取り上げます。例えば『動物の防衛』では、敵を怖がらせる、敵の目に見えないよう化ける、敵の仲間のように見せる、敵から瞬時に逃走する、予想外の行動をとる等、多様な例を紹介し、動物の多様でしたたかな生き方を知れば、ヒトの自殺などはかなり防げるのではないのでしょうか。テーマ毎に動物で見られる事例を紹介し、法則性を示し、それを基に考察します。受講生にはそれを聞いて考え、意見を述べて頂きます。動物の世界への興味が広がるとともに、現代社会の考え方、生き方と比較し、皆さんがヒトの社会について今一度考える機会として頂けたら幸いです。

### 受講者の感想

前回「昆虫の生活と環境」を受講し、夫々の環境に適應する、多くの植物や昆虫をかなり身近に感じる様に

なりました。すると今迄平気だったことが気になってきました。(大宮以降、裏畑の胡桃林で

越冬する様になったカラスやモズの大群、晩秋の昆虫の大移動、等々) この講義では、生物の存在環境での適応・寿命(生存目的)・子育て・学習行動・動物同士の関係と競争・攻撃と防御・共生について、動物個体とヒトの特徴を比較し生物学的視点からもご教示頂きました。また、アリ社会でも公共財ジレンマの実例が発見されたトピックなど大変興味深く拝聴しました。生物多様性と地球環境変化の話に触れ、急激にエコロジカル・フットプリントを増やしてきた企業毎の効率化・高速化競争についても、全体的価値観を考える機会となりました。帰宅後、庭草(抜かずに軽く刈込むことに変えた)を、色々な植物がいるなど覗き、近くのテントウムシくん達に「これから休眠かい?」と声掛けしてみました。(中島誠さん)



## 毒にも薬にもなる植物とキノコ類

担当講師/橋本 敏弘(徳島文理大学名誉教授)  
実施日/2015年11月14日・15日



現在、日本は超高齢化社会になり、またライフスタイルの歪みからくる生活習慣病(癌、心疾患、脳血管疾患など)が社会的問題になっています。これらの生活習慣病に適合する副作用の少ない医薬品は少なく、生薬・漢方薬の重要性が見直され、臨床の場で実際の治療に貢献しています。中国医学の基礎知識を用いて、薬膳および医食同源(薬食同源)について解説した。また昔から言い伝えられていた食の効能が、最近科学的に証明されたことの話についても解説した。生活習慣病に効果のある食品(緑茶、ニンニク、大根、生姜、ワサビなど)、薬草(生薬)・漢方薬、キノコ類について解説した。また社会問題になっている危険ドラッグ、麻薬などの有毒植物、有毒キノコについて、写真を用いて解説した。講義内容に興味を持って頂くために、薬草及び香料の体験授業を行った。実際の薬

草・生薬を見て、触れて、匂って、薬効を知って頂いた。色々な精油を配合して、自分好みの香水を作りました。

### 受講者の感想

講義は軽妙なトークと冊子のような配布資料を参考にしながら始まり、今の時流にあったテーマで進行しました。初日は薬草茶の試飲タイムを含めて座学中心に行われ、二日目午後からは実習・体験中心の講座となり和漢生薬の実体験・皮膚にいい漢方薬の紫雲膏の実習。圧巻は本物の精油を使っの各自のオリジナル香水の製作実習など、多種の薬草茶を試飲しながらの講座で、びっくりするような多くの体験をさせて頂きました。次の講座が楽しみです。(分島孝さん)

自分好みの香水を作りました。



## 神・仏・菩薩の物語を読む

担当講師/柏木 寧子(山口大学教授)

実施日/2015年10月31日・11月1日

日本における超越観念のうち神・仏・菩薩をとりあげ、説話を素材にその諸相を検討します。かつて日本の人々が神仏と触れあって生活を営んだ痕跡は、現在も身近に見ることができ、とくに珍しいものではありません。しかし、神仏が実際のところ、どのような存在と考えられていたのか、土俗の人々の心に思いを馳せる機会は少ないのではないのでしょうか。授業ではまず、日本の神観念の基本、崇り神をめぐる説話を読み、次いで、不思議な因果としての仏法を描く説話を読みます。さらに、伝来当初は神秘的な外来神とされた仏について、どのように理解が深まっていったか、また、仏なき世で働く菩薩と人々との間に、どのように出会いが成り立つと考えられていたか、説話に即して検討します。

いつの時代でも人は、何かしら超越への思いをめぐらさずには生きていません。古人の思いを知ることが、迂路ではあっても、自身思索するときの手が

かりとなれば幸いです。

### 受講者の感想

これまで深く考えてこなかった神、仏、菩薩についての知識が深まった。テーマもユニークで

あり、興味深く、楽しく授業を受けることができた。先生の優しい語りと熱意は、次第に心の中に浸透し、今の自分を見つめ直すよい機会となった。神、仏、菩薩の物語を読むことを通して、過去の人々の倫理観や生き方を学び、現代人の進むべき道を投影することもできた。専門家の先生から、普段聴くことができない内容について、わかりやすく話していただき感謝している。



## 日本画の初歩・「富士山」を描く

担当講師/久保 千晴(京都日本画家協会会員・日本画家)

実施日/2015年11月13日・20日・27日・12月4日

絵は作者の心の象徴であり、その人の心を語っているものだと思います。私は作品のもととなるスケッチは、ありのままの姿を描くようにしています。精密に描くことも大切ですが、対象を体の中に染み込ませるために、より親しくなるように、いつも描いている気がします。日本画の初歩の課題には少し難しいと思われませんが、「富士山」は私たちにとってはすでに心の中にある特別な存在で、心象風景をイメージしやすいモチーフではないのでしょうか。

授業のはじめに「富士山」を描いた魅力的だと思われる参考作品をご紹介します。どんな「富士山」を描きたいのか、皆さんそれぞれアイデアスケッチ(小下絵づくり)からスタートします。次に日本画の材料の使い方、伝統技法を学びながら作品づくりを進めていきましょう。途中過程では、お一人お一人の作品に適した絵具の選択などアドバイスをいたします。そ

して授業最終日には、皆さんの一枚のステキな「富士山」が完成いたします。

### 受講者の感想

・日本画という

芸術に人生で初めて触れ、奥行きのに驚きました。自分の思い描く絵は、描けませんでした。日本画を描く流れは学ぶことができました。自分自身、なんだか1upした気分です。

・何通りもの色を手間ひまかけて作り出した物を、絵に色づけしていく過程に魅力を感じる。日本画の細かさは、日本の美に通じるものがある。日本の四季の変化を表現する道具として古くから登場してきたのも納得出来る。





# まなび〜とめぐり♪

学習センターを

## 全国学習センター学生レポート！

### 東京多摩学習センター

近くに玉川上水が流れ、日本近代彫刻の巨匠・平櫛田中彫刻美術館もあります。日本のブルーベリー栽培の始まりの地であり、おいしい武蔵野手打ちうどんの盛んな土地です。さらに小平市は、昔懐かしい丸形ポストが多く残っており、東京都内の自治体の中で1位(37本)です。春は満開の桜が素晴らしい学習センターです。



# 多摩

東京多摩  
学習センター

### サークル活動

私が代表を務める漢方クラブは、テキスト大塚敬節「漢方医学」について、顧問の元客員教授海野雅浩先生の指導で勉強しています。薬草園やメーカー施設などの見学も行っています。

### 玉川上水探索会



田崎宣義所長



学生リポーター  
鈴木 英夫さん

私は放送大学開校の年に入学し、途中転勤で10年ほどブランクがありましたが、3度ほど卒業しました。まだ在学している団塊の世代で、食の安全安心に関わる仕事をしている勤労学生です。私の所属と行動範囲での報告をします。



### 特色あるゼミ

福嶋司先生の「玉川上水のサクラの健康診断」とサクラの分類のゼミが昨年から開催され、成果は「たま祭」で発表しています。樹木の痛みが激しく、自らの身体を看ているようです。



国指定史跡の玉川上水を歩きながら、自然や歴史、文化を探索します。東京多摩学習センター企画として、2013年4月26日、第1回がスタート。その後、毎月月末の金曜日に開催。多摩学習センターとぶら多摩クラブの共催となり、玉川上水の分水、野火止用水などもめぐり、2015年8月28日、第22回を迎えました。

放送大学のイメージキャラクター、まなびーが、2つの学習センターにお邪魔しました。そして、各学習センターに所属する学生の方に、その学生生活の一部を見せてもらいました。



まなびーは2008年9月に生まれた放送大学のイメージキャラクターです。「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。命名の由来は、放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。「ピー」は鳥の鳴き声、平和のピース。キャラクターデザインは、漫画家のこの史代氏(2001年放送大学卒業)です。

### 図書室で

会社帰りに閉館ぎりぎりまで本を受取に行ったにも関わらず、図書室の方々は嫌な顔一つせずに優しく対応してくれます。本当に感謝しています。



学びピア21の1階ロビーには松尾芭蕉の像があります。

## 足立

東京足立  
学習センター

### 塩谷ゼミ

塩谷客員教員の自主ゼミに参加しました! 鳩(まなびー)と心理学の関係について塩谷先生は話してくれました!『まなびー、とっても嬉しそう!』



学生リポーター  
小山 久美さん

2013年4月「心理と教育」コースに入学をしました。目標は大学院に進学し研究をしたいです。足立区生涯学習総合施設(愛称: 学びピア21)6階に東京足立学習センターがあります。『まなびー、来てくれてありがとう!』

事務室のお姉様方です。いつも優しく丁寧に対応してくれます。



### 子供に大人気

まなびー、子供達に人気です!実は、まなびーに一目惚れしてしまった女の子が、6階までこっそりついてきてしまったほど…。『大人になったら、是非、放送大学に入って!』



### 宿場町通りの風景

東京足立学習センター近くに歴史ある宿場町通りがあります。江戸時代に建てられた地漉き紙問屋横山家住宅等の商家や、水戸黄門ご一行も休んだという団子屋さんが今も残っています。この千住宿に関する面接授業も開講されます。



### サークル

私は、サークルパワーウォーキング「かかとの会」に所属しています。この日は足立区民祭Aフェスタがあり大勢の人達が荒川河川敷が賑わっていました。学びピア21でもサークルフェア2015が開かれていました。

東京足立学習センター 〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5(学びピア21(6階)) 電話:03-5244-2760

## 親ががんになったとき・子どもと家族を支える

心理と教育コース・臨床心理学プログラム 准教授

小林 真理子

がんに罹患する人々は年々増加の一途をたどり、その中には子育て世代のがん患者さんも多く含まれています。親の庇護が必要な子どもを育てている最中のがん治療は、どれほど子どもを含めたその家族に衝撃を与えることでしょうか。発達途上の子どもにとって、親ががん患者であることの与える影響は大変大きいと思われまます。長期にわたるがん治療のさまざまな段階で、家族に起きている状況を子どもにどう伝え、どう支援していくのかが大きな課題となっています。子どもは大人が思っている以上に敏感に状況を察知し不安を感じてしまう一方、大人が思っている以上に困難を乗り越えていく力を持っています。親のがんという体験を共有するなかで、家族のきずなは深まっています。それを可能にするために、ご家族と周囲の人々が連携していくことが望まれます。

私の専門は臨床心理学ですが、これまで数名の共同

研究者と共に、親のがんをお子さんに伝えるための絵本を作成したり、伝えた後のサポートの一つとして子

どもグループの実践を行ったりしてきました。また、子どもが多く時間を過ごす学校との連携をめぐっていくつかの調査を実施し、学校における支援に役立てるための冊子を作成し配布してきました。今後、新たな実践や調査も加え、がん患者さんの子どもと家族への支援に関する家庭・学校・医療機関をつなぐ支援リソースの開発を続けていきたいと思っています。2016年度に開講する『心理臨床と身体の病('16)』の中で、トピックスとしてこのテーマも取り上げています。関心がおありの方はご覧ください。



子どものサポートプログラムについてのポスター発表(日本緩和医療学会2013.6月)。右側は共同研究者の村瀬有紀子氏(東京医科歯科大学附属病院小児科)。

## 人やコミュニティを支援するICTの利用

情報コース・情報学プログラム 准教授 芝崎 順司

私は教育・研究用のWebアンケートシステムである、リアルタイム評価支援システム(REAS、リアスと呼んでいます)を開発し、提供しています。2015年10月現在、アンケートの作成者である登録ユーザは大学の教員を中心に6,300人、作成調査票は41,000件、のべ回答者数は110万人をそれぞれ超えて利用されています。REASは通常のアンケート調査にもよく利用されていますが、日本の高等教育において従来消極的だった、対面や遠隔の授業や利用教材に対する学習者による応答データの収集と集計表示を日常的に簡便に行えるようにし、教育活動における評価活動やコミュニケーション活動を活性化させることを願って提供しています。また発展的に映像教材のような一方的な情報に対する視聴中の学習者の応答反応を収集、集計、可視化し、学習者にフィードバックするシステムに関する研究をしています。



大学院修士課程を終了後に学生さんたちとともに

大学院の修士の学生さんに対しては、私自身の研究にこだわらず、ご自身のやりたい研究を進めていくことを支援しています。現在の学生さんの研究は、語学学習のオンラインコミュニティに関する研究、ICTを利用した防災、減災についての研究、大学生のICT活用能力育成に関する研究、企業におけるICT環境活用の研究、小型航空機搭載電子機器の点検支援ツールに関する研究などです。一見バラバラに見えますが、人やコミュニティを支援するICTの利用に焦点をあてた研究をしています。

## 埼玉学習センター

埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2(大宮情報文化センター内) 〒330-0853  
大宮駅西口から徒歩3分 電話:048-650-2611

大宮JACKビル全景



埼玉学習センターは放送大学が開校したときに、南関東の他のセンターと同時に開設されました。したがって今年で30年になります。現在約3,850人の学生が所属しております。

「地域社会への文化面からの貢献」というセンターの存在意義に照らして、今年は公開講演会の開催をめぐって、三つの方針を立てました。(ア)回数を増やし、年間を貫く共通課題を設定する、(イ)単位互換協定を結んでいる大学等と共催の形をとり、相互に広く広報する、(ウ)開催場所を共催相手との協議により、センターの外にも設定する。

その結果、今年の共通課題を「人間を考える」としました。これに相応しい演目と講師を思い浮かべながら、来年2月までの10回分を企画立案しました。ここだけの話しですが、「人間を考えない」話題・

研究なんてありえませんから、この題は詐欺かもしれません。

ということで、6月以来すでに、シェイクスピアの魅力、メタ認

知とは何か、クラシック音楽に聴くことのできる感情表現、『源氏物語』と聖徳太子、を話題にして4回が開催されました。このあとは、アメリカ映画から読みとる人間と歴史、ホモ・サピエンスの誕生、日本思想の特質は何か、性同一障害の成立機構、人間の姿勢の特徴、人間と教育、と続きます。

アリストテレスは「人間は生まれつき知ることを欲する」といいました(『形而上学』冒頭)。この言葉を当センターの活動の礎にすえたいと考えています。



第一回公開講演会

## 宮崎学習センター

宮崎県日向市本町11-11(日向市役所北隣) 〒883-8510  
JR日向市駅から徒歩約8分 電話:0982-53-1893



学習センター外観

宮崎県は、記紀にもあるように日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの伝説や伝統文化、史跡

等が残されています。宮崎学習センターは、このような歴史と自然豊かな宮崎県の北東部に位置し、東は美しいリアス式海岸を有する日向灘を、西には歌人若山牧水の故郷東郷町や那須大八と鶴富姫で有名な椎葉村をひかえた日向市の、市役所北隣にあります。また、日向市駅から徒歩7~8分、東九州自動車道日向インター及び国道10号線の本町交差点から車でそれぞれ3~5分とアクセス環境もよいところにあります。

宮崎学習センターには、現在約730人の学生が在籍し、熱心に勉学に取り組んでいます。平成22年には「学友会」が設立され、平成25年からはそれまでの夏

祭りを「学園祭」として実施し、学生・地域住民・教職員との交流も盛んに行われています。また、学生研修旅行においても学生交流が盛んです。さらに「記紀にみる古代日向の物語」のようにフィールドワークも取り入れた面接授業など地域に根ざした取り組みをしています。サークル活動も「メディア研究会」、「絵画」、「パソコン」、「英語」、「ハンゲル」の5つのサークルがあり、活発な活動を通して交流の場を拡げています。

さらに5人の客員教員がそれぞれの専門性を活かし、面接授業・公開講演会・学習相談などの支援を行っています。なお、平成28年度には創立20周年を迎えます。

センター教職員は8人のスタッフで「真心のこもった笑顔で親切に対応します」を合い言葉にして、学生の支援に努めています。どうぞ、お気軽にご相談ください。



平成26年度公開講座

# 学園祭 & 記念行事レポート

秋に学園祭・文化祭を開催する学習センターは少なくありません。そこで今回は、開設30周年記念行事とあわせて学園祭を開催した群馬学習センターへお伺いしました。岡部学長、宮本副学長の記念講演をはじめ、各種イベントが華やかに催されました。まだ学園祭・文化祭に参加されたことのない皆様、来年はぜひ学園祭・文化祭にご参加ください。普段とは違う学習センターで、きっと新しい体験をすることができると思います。

祝!  
群馬学習センター  
開設30周年

## 学園祭

様々なイベント、展示の一部をご紹介します



お茶会&演奏会



学長や学習センター所長をお迎えした茶道同好会による茶会や、「邦楽に親しむ会」による演奏。



### INTERVIEW

後藤 嘉文さん  
実行委員長

今年の学園祭は30周年記念式典と並行して行われるということで、重い責務をあともう少しで果たすことができそうです。「知と和」というテーマで準備が大変でしたが無事開催にたどり着くことができました。参加された皆様、それぞれにご苦労があったと思いますが、参加すること、やることに意義がある、それを実感していただけたのではないかと思います。



### INTERVIEW

小菅 房子さん  
楽々イングリッシュサークル

サークルはオープンクラスということで、いつもの先生をお招きして学ぶ姿をご覧いただき、かつご参加いただく内容となっています。学園祭開催のメンバーとしては、後藤実行委員長のご尽力のおかげでスムーズな運営がなされています。昨年度、学園祭を約20年ぶりに復活させて、2度目のメンバーで臨んだことで判断が明確になりました。学園祭を通じてみんなで作り上げる喜び、充実感をより得ることができました。

### 展示スペース



ロシア語勉強会、写真同好会による展示や、学習センターの備品である天文観察機材を展示するスペースもありました。

### ビブリオバトル 知的書評合戦



### オープンクラス&パソコン教室



楽々イングリッシュのオープンクラスや、パソコン同好会によるパソコン教室が開催。



5分間でお勧め本の紹介をして投票で優勝者を決めるゲーム。このゲームの普及に取り組んでおられる文京学習センターの高橋さんをお招きして催されました。

## 記念行事

開設30周年を迎え、学長のほかご来賓の方々のご臨席のもと、厳かに記念式典が催されました。また、学長と副学長による記念講演会、附属図書館によるちりめん本と古写真のコレクション展「日本残像」が開催されました。

### 記念式典



### 記念講演会



岡部学長「スキーの科学・登山の科学」、宮本副学長「無縁社会にしないために～私たちにできること～」。

### 放送大学附属図書館 コレクション展



放送大学附属図書館コレクション展「日本残像」。

# 放送大学のラジオ授業がテレビで聞ける!

## BSラジオ番組 選局操作ガイド

放送大学のラジオ授業についてはいくつかの視聴方法がありますが、今回は特にお問い合わせが多い、BSラジオ番組を聞くためのテレビリモコン選局操作について以下の2通りの方法をご案内いたします。

### BSラジオ番組 選局方法①

## リモコンのチャンネル番号入力で視聴する

### STEP 1 BS放送を選択します

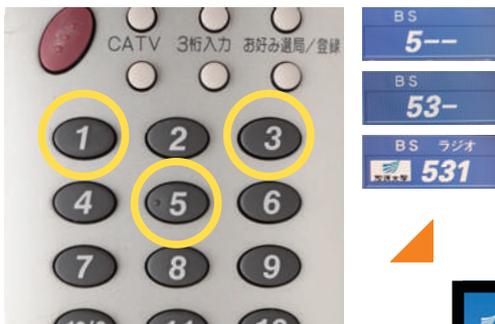


### STEP 2 入力方法を選択します



「3桁入力」「チャンネル(CH)番号入力」「テン(10)キー入力」など(メーカーや機種によって違います)と表示されたボタンを押します。

### STEP 3 チャンネル番号「531」を入力します



リモコン数字キーを「5」「3」「1」の順番に押します。

### BSラジオ番組 選局方法②

## BSテレビ 放送大学チャンネルからの移動で視聴する

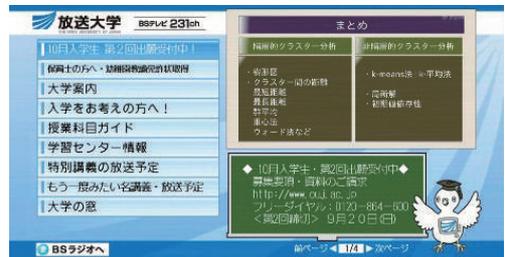
### STEP 1 テレビ放送視聴時にdボタンを押します



BS放送で放送大学のテレビ放送視聴時に、「d」ボタン(データ連動ボタン)を押す。

※左記「BSラジオ番組選局方法①」のSTEP3で、「5」「3」「1」の代わりに「2」「3」「1」を押すと放送大学のテレビ放送をご覧いただけます。

### STEP 2 データ放送画面が表示されます



### STEP 3 リモコンの青ボタンを押します



「青」ボタンを押します。

**視聴スタート!** 上記の操作でラジオ放送を聞くことができます。

#### ご注意事項

- 一般的な操作例です。メーカーや機種によってボタンの位置、名称表示が異なりますので、お手持ちの機器の説明書をご確認ください。
- ケーブルテレビにご加入の場合、この操作方法とは異なる場合がございますので、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

## 退任にあたり思うこと

大震災の年に赴任して早くも5年が経った。私は、「食と健康」等を担当している。食の基礎はそれほど変わらない気がしていたが、医学の進歩や災害のため、たった5年間でも変わるもので放射線の影響などが入るようになった。

本学で学生さんと話せるのは院生の指導と面接授業だけである。計22回の面接授業は疲れたが楽しかった。同時に科学（化学）教育の難しさを痛感した。人体は調節された膨大な化学反応のネットワークなので、健康維持の機構も、それが破綻する病気の理解にも化学は必須である。原子・分子から説明

生活と福祉 教授  
生活健康科学プログラム 小城 勝相



したが、皆さんによく理解していただけたかどうか不安もある。化学は簡単な原理で成り立っているが、化学の理解は講義を聴くだけ

では難しく、自分で問題を解く等の努力が必要で、人生経験は全く役に立たない。学生諸氏には、健康・環境問題を本当に理解するためにも化学の勉強をされることをお勧めする。

最後に、お世話になった教職員の皆様に感謝いたします。

## 大学院生と学ぶ

2011年から5年間お世話になりました。各地での面接授業や印刷教材・放送教材の作成等慣れないことが多く、関係したスタッフ、事務の皆さんに感謝します。また、社会と産業の先生方とは多彩な専門的な話ができ知的好奇心を大いに刺激されました。

一番大変だったのは大学院生の指導でした。自分の専門以外の領域についてどの程度の確かな指導をできたかは自信はありません。それでも本人の問題

社会と産業 教授  
社会経営科学プログラム 道幸 哲也



関心を生かし、ゼミ生全員で相互に徹底的に議論するというので一定の成果が出せたと思います。自分の仕事を見直したり、より深い

研究の道を選んだ学生もいます。なによりも私自身が、社会経験豊富な学生に教えられたことが多くありました。

## たかが4年、されど4年

放送大学教授4年。活動の成果を簡潔に記し、責めを果たしたい。まず教材作成について。客員教授10年の年季を生かし、テレビ番組を「日本政治外交史（'13）」と「権力の館を考える（'16）」の2本。ラジオ番組「政治学へのいざない（'16）」と「公共政策（'17）」の2本を手がけた。放送大学叢書「戦前とは何か」もまもなくお目見えする。ついで各地の学習センターには定番の面接授業は元より、周年記念行事3箇所、大学祭イベント1箇所を含め、7箇所の人寄せの講演会を行った。地元の新聞に載ったり、OBとの交流もあつたりで思い出に残る。

社会と産業 教授  
社会経営科学プログラム 御厨 貴



そして修士論文指導はⅢ期生までで24名に及ぶ。今やアフターゼミへの発展の手応えを感じている。入学案内や電車の中吊り広告、

それにウチワや新聞・雑誌への広報活動にも、いささかなりの貢献はあった。60才代前半の私の全活動の一部ではあるが、顧みて安堵する。今年で「学生生活40年」を迎えたのを期に、まだ定年までの折り返し点ではあるが、後進に道を譲ることにした。しばしの間、客員教授としての支援は続けるつもりだ。

## 停年を目の前にして

本学に移ってきた時、これを契機に多くの学生や一般人に接触し、新たな研究を目指したいと思う、と抱負を述べたが、その新たな研究の一つに、地域の歴史をどう捉えるべきかを考えてゆくことをあげた。

そこで放送を通じてだけでなく、各地に赴いて地域の歴史を掘り起こす作業に積極的にかかわっていった。この研究実践に本学の環境はよく役立った。放送のロケや面接授業、講演など、また文化財の調査などでよく国内を旅行した。ほぼ毎年、全国の半分の県は何らかの形で訪問し、その地域の歴史を探

人間と文化 教授  
人文学プログラム 五味 文彦

り、地域的特質について話し、また書いてもきた。

その際の励みになったのが熱心な学生の多大な関心と夢であった。本格的な学術論文を書きたいという学生や卒業生、また地域の歴史をどう考えてゆけばよいか模索する学生や一般の人との出会いは、私の研究意欲を高め、研究領域を広げさせたように思う。

多くの人に、ありがとう、の一言を述べたい。



## 蜜月の終わり

人間と文化/人文学プログラム 准教授  
(2015年9月30日ご退任) 井口 篤

早いもので、2009年の4月に放送大学に着任してから6年半の月日が経ってしまいました。博士号を終えたすぐ後に幕張にやってきましたが、ほんの少し前まで学生であった身からすると、教員として放送大学の熱心な学生さんたちと対峙するのは、非常に楽しいことながら、同時に知的緊張を強いられる時間でもありました。面接授業やゼミで直接お会いして議論を重ねたり、放送教材への質問をメールで頂いたりする中で、皆さんの投げかけてくださる一言一言に叱咤激励され、次の科目を作成する勇気をいただいき

た気がします。この上なく充実した研究・教育生活を送ることができた放送大学を去るにあたっては、「あらゆるよいことには、なぜ終わりがあるのだろうか?」(‘Why do all good things come to an end?’)という感慨がないわけではありません。ですが、新しい職場でも、放送大学の皆さんと学んだ日々を忘れず、さらに精進してまいりたいと思います。これまでどうもありがとうございました。



## 大変お世話になりました

情報 教授  
情報学プログラム 近藤 喜美夫

大変お世話になりました。旧メディア教育開発センターの業務移管に伴い着任し7年間過ごさせていただきました。それまで長く研究・開発に携わっていらしたので、放送大学の教員になって、教材や試験問題の作成をはじめとして緊張し戸惑うことも少なくありませんでした。面接授業での休憩時間にも寄せられる様々な年代の学生さん達からの質問への対応、また修論、卒論の指導の中でのいつのまにか真顔になっての意見交換などは、やや冷や汗がまじりながらも、それぞれ自身にとって反省と学び直しの貴重

なきっかけとなりました。このような毎日の中で、教材作成にあたっての自分の思いが、学生さん達にも理解してもらえていることがわかったときの嬉しさと充足感は、教員としての自分にとり宝となっています。ご指導またご支援を頂いた多くの先生方と多くの事務の方々に心より御礼申し上げます。



## 韓国語I('16) 基盤科目

神田外語大学教授 はまのうえ みゆき  
(放送大学客員教授) **浜之上 幸**



浜之上 幸 客員教授

SMAPの草彅剛が韓国語を上手に話し、K-popの歌手の中に日本語が流ちょうな歌手がいます。このように忙しい芸能人でもマスターできてしまう日本語と韓国語の関係を考えると、何か特別な類縁関係があるということが容易に想像できます。しかしながら、日本語と韓国語は、インド・ヨーロッパ語族のような系統論的な類縁関係が学問的に証明されていません。基本単語に音の対応関係が存在しないからです。それにもかかわらず、(1) 語順がほぼ同じであること、(2) 助詞を用い

て体言の文中での働きを示すこと、(3) 用言が活用しそのあとに語尾がくっついて単語の形になること、(4) 総語彙数のほぼ50%が中国語から渡ってきた漢語で占められていること、などの類似点が多くあります。よって、ハングルという文字の形と発音、そしてさまざまな音の変化、という入門期の2つの難所を越えれば、急激に易しく感じられます。この日本語に一番似ている外国語である韓国語と一緒に学んでいきましょう。

## 女性のキャリアデザイン入門('16) 導入科目

国立女性教育会館主任研究員 なかの ひろえ  
(放送大学客員准教授) **中野 洋恵**

国立女性教育会館研究員 わたなべ みほ  
(放送大学客員准教授) **渡辺 美穂**



中野 洋恵 客員准教授



渡辺 美穂 客員准教授

女性のライフスタイルは多様化しています。女性の働き方も変わってきました。これまでは、男性は定年まで働き続けることが当たり前とされているのに対して、女性は、いったんは仕事に就くものの、結婚、出産で労働の場から離れ、「専業主婦」になることが想定されていました。しかし、現在、女性と職業についての考え方は男女ともに「子どもができてずっと職業を続ける」が最も多くなっています。女性が働き続ける社会環境も整ってきました。2015年8月には「女性活躍推進法」

が可決され、働く女性への期待が高まっています。しかし、個々人の生き方は様々です。こうした変動する社会だからこそ、長期的な視野に立ってキャリアをデザインすることは大きな意味を持っています。この講義では社会の変化や法制度の整備だけではなく、女性がキャリアを形成する上でどのような課題があり、それをどう乗り越えたかを事例を通して学習することも目的としています。あなたらしいキャリアをデザインしてください。

## がんを知る('16) 導入科目

放送大学教授 たしろ たかお  
(生活と福祉) **田城 孝雄**

帝京大学准教授 わたなべ きよたか  
(放送大学客員准教授) **渡邊 清高**



田城 孝雄 教授



渡邊 清高 客員准教授

現在、国民の2人に1人が一生のうちに何らかのがんにかかると推計されています。がんという病気、原因、予防や治療の概要について、入り口になるような知識と対応策を得ておくことは、自分だけでなく周りの大切な人を守ることに繋がります。がん患者とその家族は、精神的、身体的な不安や痛みに加え、社会とのつながりを失うことに対する不安や、仕事と治療の両立が難しいなどの社会的苦痛も抱えています。

がんを「畏れる」ことはあっても、がんを「恐れぬ」ために、この科目ではがんという病気の解説にとどまらず、

この疾病がもたらす患者・家族への不安や苦痛、社会的、公衆衛生学的課題、創薬や医療技術開発、医学研究や医療倫理、医療政策や社会福祉政策としてのアプローチをはじめとする多様な視点から、「がん」について議論します。医療や介護福祉に関心のある方はもちろん、患者・家族の療養支援に関心がある方、人文社会学、法学、経済学、経営学、地域政策、リスクコミュニケーション学などに関心のある受講生の皆さんの学際的なアプローチを期待します。

## 現代会計('16) 導入科目

横浜国立大学大学院教授 さいとう しんや  
(放送大学客員教授) **齋藤 真哉**



齋藤 真哉 客員教授

現代社会における会計の機能を理解することを目指します。会計は、私達の生活にとって重要な役割を果たしています。身近なところでは、家計簿をつけることも会計です。国民生活に決定的な影響を与える国の予算もまた、会計の問題です。そして会計の知識は、企業や非営利法人の経営管理者にあっては、その組織の実態を理解して管理し、経営方針を定めるために不可欠であり、企業の営業担当者にとっても取引先の財務状態を理解するために重要です。また多くの人が、株式を売買

するなどの投資活動を行うことでしょう。そうした投資の意思決定を行うときに、会社が公表する会計情報を理解できるか否かは、その投資の成否に重大な影響を及ぼします。このように、公認会計士や税理士などの職業会計人を目指す人だけでなく、一般教養として会計の知識を身につけることは、私達の生活をいろいろな意味で豊かにしてくれると思います。会計学一般の入門的内容となりますが、新たな知識の習得を楽しんで頂けると幸いです。

## カリキュラムと学習過程('16) 専門科目

東京学芸大学教授 あさめま しげる  
(放送大学客員教授) **浅沼 茂** なす まさひろ  
(放送大学客員教授) **奈須 正裕**



浅沼 茂 客員教授



奈須 正裕 客員教授

「カリキュラムと学習過程」という科目は、これまでの教育系の科目としては、少し、変わっているかもしれません。なぜかと申しますと、内容が、どちらかというやや難しい理論により概説的なものが多かったこれまでの教育学と違うからです。カリキュラムという用語で教育の理論について論じるということは、これまでとは異なる方向ではないでしょうか。多くの教育理論というと偉大な思想家とその理論に裏付けられた実践というような語られ方が多いと思います。けれども、教育の内容に関わる話となりますと、

教育思想家の概念というよりも、実際に経験する中身が具体的にどうなるのか、ということが大事になってくるからです。番組では、教育現場の実践においてご活躍されていたゲストに来ていただいております。ゲストの先生方の豊かな実践経験は、いろいろなストーリーを語っております。具体例が多く、実践についてのイメージがしやすいのではないかと思います。具体例から入る教育学と考えていただければ、と思います。ぜひ、ご聴講いただければと思います。

## 現代の行政と公共政策('16) 専門科目

国際基督教大学教授 にしお たかし  
(放送大学客員教授) **西尾 隆**



西尾 隆 客員教授

行政に対して、皆さんは批判的でしょうか、好意的でしょうか、それとも無関心でしょうか。行政をビルの配管にたとえた学者がいます。配管は目に見えず、普段は誰もその存在を意識しませんが、一たび詰まったり水漏れが起きたりすると、人々は管理責任者を批判し、迅速な修理を求め、元通りになるとまたその存在を忘れがちとなります。行政の活動は、上下水道、道路、教育、福祉から安全の確保まで、市民生活に不可欠のものばかりです。私たちは行政サービスの消費者として行動しがちですが、納税

者としてそのコストに絶えず関心を払うべきですし、主権者・有権者として行政活動の方向づけにも関与する必要があります。

本コースでは、制度を基本に考える従来の行政学に加え、近年隆興している政策学の視点を取り入れ、現代の行政と公共政策につき、国・地方・国際の3つのレベルで、理論と実践の両面から学びます。今や政策の形成と実施を官僚に委ねる時代ではありません。市民自身が政策過程に参加し、協働するためのアートを身につけたいと思います。

## 博物館教育論('16) 専門科目

慶應義塾大学非常勤講師 おおたか みゆき 大高 幸 (放送大学客員准教授)  
 横浜美術館学芸員 はやま さとこ 端山 聡子 (放送大学客員准教授)



大高幸 客員准教授



端山聡子 客員准教授

ラジオ科目『博物館教育論』は、学芸員資格取得に必要な科目のひとつで、2012年に開講しました。2016年度スタートの新訂『博物館教育論』は、これまでと同様、普段あまり博物館を利用したことのない方々を含め、人文科学系、自然科学系など様々な学問分野の研究に取り組み、日常生活の中で幅広い関心を持っている、放送大学の多くの学生の皆さんが、博物館を基盤とする様々な教育機会を自在に活用できるようになるために役立つ、入門科目でもあります。

新訂『博物館教育論』は、2012年度版の内容を

アップデートし、

入門者にも役立つように、歴史民俗資料館、美術館、文学館、動植物園、水族館、科学館など、大小様々な博物館のうち、先進的な教育機会を提供してきた実践例を参照しながら、理論的根拠となる教育学や博物館学における基礎的な概念も考察します。

学際的な学問領域である博物館教育の基礎を理解し、博物館を自他の教育に活かす能力を涵養するために、相互に補完しあう印刷・放送両教材を活用し、自己の関心分野に関わる博物館を利用することが重要です。

## エントロピーからはじめる熱力学('16) 専門科目

放送大学准教授 やすしいけ ともかず 安池 智一 (自然と環境)  
 九州大学准教授 あきやま りょう 秋山 良 (放送大学客員准教授)



安池智一 准教授



秋山良 客員准教授

熱力学は自然科学の中でも最も堅固で美しい形式を持つ完成度の高い理論体系を誇っています。その適用範囲は幅広く、身近なところでは、氷・水・水蒸気の中の相変化をご存知でしょう。食塩を氷に加えると急激に温度が下がるのも、熱力学を使って説明ができます。日常生活でも自動車をはじめとする内燃機関やエアコンなどを通じて熱力学のお世話になることが多いでしょう。また、熱力学的考察はつねに自然科学の羅針盤であり、科学の歩みが行き詰まると必ず熱力学

が重要な役割

を果たします。地球環境温暖化も熱収支の議論から始まります。このような適用範囲の広さと引き換えに、熱力学は抽象的で難しいというのがもっぱらの評判ですが、本科目では、難解な概念だとされるエントロピーを最初に持ってくることで、早い段階でコンパクトに熱力学の全体像を見渡せるようにしました。イヤだなと思う前に慣れてしまって、熱力学が見せてくれる新たな世界を一緒に楽しみましょう。

## 海からみた産業と日本('16) 総合科目

放送大学特任教授 いけだ たつひこ 池田 龍彦 (神奈川学習センター所長)  
 放送大学教授 はらだ じゅんこ 原田 順子 (社会と産業)



池田龍彦 特任教授



原田順子 教授

島国であるわが国において海運は輸送生命線です。わたくしたちの生活に不可欠なエネルギーや食料の輸入は、ほとんど海上輸送によっています。また、近年の特徴としては、企業のグローバル展開に伴い、いくつもの国をまたぐ複雑なサプライチェーンマネジメントが発達し、国内外の安定した海上物流は経済の安定と繁栄の基盤と言えるでしょう。その前提条件として、大量の貨物を運搬する海運、貨物を円滑に流通させる国際物流、物流の結節点である港湾の戦略的な整備と運営、国内外

の適切な海事

管理等が重要であることは言うまでもありません。

「海からみた産業と日本」は、産業・経営の基盤として海運、国際物流、港湾、海事管理、海に親しむ活動等について包括的に学習します。この授業は島国である日本経済の維持・発展について基礎的知識を得ることを念頭に制作されました。この講義が、日本の企業活動の俯瞰的な理解に役立つとともに、未来へ向けた産業の展開について考える一助となることを期待しています。

## 道を極める－日本人の心の歴史（'16）

放送大学教授  
(人文学プログラム) うおすみ たかし 魚住 孝至



魚住 孝至 教授

本科目では、芸道や武道の分野で道を極めた人たちの事績を、彼らの生き方と合わせて考えます。最初に本科目の問題意識を述べてから全体を概観し、芸道以前の発想を探って歌の起源に触れます。歌道（紀貫之から定家へ）、隠者の文学（西行・長明・兼好）、能楽（世阿弥）、茶の湯（武野紹鷗・利休）、水墨画（等伯）、俳諧（芭蕉）、浮世絵（北斎）と辿って芸道を、また流派剣術（上泉伊勢守から柳生宗矩へ）、武蔵、近代武道（鉄舟・嘉納治五郎・阿波研造）により武道を考えます。最後

に以上をまとめ、宣長の歌論や子規の俳論にも触れます。それぞれが時代の中でいかに道を極め、どのような技芸を生み出し、後世に何を遺したのか、彼らの人生観・世界観についても考えてみたい。古代から近代までの達人たちの生き方と思想を知れば、日本人の心の一端が浮かび上がってくるように思われます。日本文化の豊かさを知っていただけたらと思います。愛敬一幸、斎藤綾乃両アナウンサーの古典の朗読もお楽しみに。

## eラーニングの理論と実践（'16）

放送大学教授  
(情報学プログラム) あおき くみこ 青木 久美子



青木 久美子 教授

この科目は、インターネットを活用して教育を効果的に提供するための理論や実践を紹介することを目的としていますが、本科目を実際にオンライン上で受講することによって、学生の皆さんは自らeラーニングを体験しながら、学習を進めていくことになります。放送大学ではオンライン授業はまだ新しく、馴染みのないものではありませんが、実際に体験してみることで、色々な側面が見えてくることと思います。我々教員側も、どうしたらよりよいオンライン授業にできるのかを学生の皆さんと一緒に

考えて行きたいと思っています。この科目では、期末時に実施される単位認定試験という従来の一括成績評価方式ではなく、オンライン上で課す複数回の小テスト、ディスカッション、レポートなどを総合して成績評価を行います。これを「形成的評価」といいますが、最後に大きな高いハードルがあるのではなく、走りながら低いハードルを幾つか飛び越えることによって、ゴールにたどりつく、といったイメージです。一緒にこの新しい学びの形を考えていきましょう。

## 生物の種組成データの分析法（'16）

放送大学教授  
(自然環境科学プログラム) かとう かずひろ 加藤 和弘



加藤 和弘 教授

いろいろな場所で調査した生物の種類が場所によってどのように違うのか、その違いはどのような原因によってもたらされているのかを知ろうとすると、データの分析という問題に突き当たります。統計学の本を見ても、「多数の種×多数の地点」という生物調査の結果の分析にどの方法をどのように利用すればよいか、なかなかわかりません。いきおい、データの表や種のリストを作ってそれでおしまい、ということになってしまいがちです。

この授業では、生物調査の結果の分析の具体的な

手順と、その背景にある考え方を、オンライン資料の学習と、オンラインで提示された課題についての実習を通じて、学習していただきます。特に多変量解析手法の学習に多くの時間を割きます。実習では、データ解析用のフリーソフトウェアを使用して、それぞれの手法を使った解析を実際に行っていただきます。実習レポートの提出がかなり大変だと思いますが、挑戦してみてください。オンラインでの意見交換の場も設けられる予定です。

ON AIRは2016年度から年2回発刊になります

オン・エア 編集委員会

現在、年に4回発刊しているON AIRですが、放送大学全体の印刷物発送スケジュールの都合により、2016年度から6月(予定)と12月(予定)の2回発刊とさせていただきます。なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

オン・エア 編集委員長から

発行回数は減りますが、科目紹介についてはページを増やして年間の紹介数を維持し、新企画を繰り出してより充実した紙面を図っていきます。特に、学生の皆さんが紙面づくりに参加できる機会を増やしていきたいと考えています。どうぞお楽しみに。

2015年度 オン・エア 編集委員長 岸根順一郎

国立美術館キャンパスメンバーズ制度への加入について

学習センター支援室

放送大学は国立美術館キャンパスメンバーズ制度へ加入しております。以下の5つの国立美術館の利用にあたって、特典が受けられます。

**利用できる国立美術館** ※開館日・時間、入館料等詳細については各美術館HPをご覧ください。直接各美術館にお問い合わせください。

東京国立近代美術館	東京・竹橋	日本で最初の国立美術館。近・現代美術、工芸、映画フィルム、映画資料のコレクション
京都国立近代美術館	京都・岡崎公園内	近・現代美術、工芸のコレクション
国立西洋美術館	東京・上野公園内	松方コレクション、西洋美術のコレクション
国立国際美術館	大阪・中之島	現代美術のコレクション
国立新美術館	東京・六本木	国内最大級の展示スペースを活かした多彩な展覧会を開催 アートライブラリーやミュージアム ショップなども充実

特典

- 所蔵作品展及びフィルムセンター所蔵作品上映(国立新美術館を除く) …… **無料**
- 特別展・共催展 …… **割引料金(団体観覧料金)** ●フィルムセンターの特別上映及び共催上映 …… **割引料金**

対象

全科履修生、選科履修生、科目履修生、特別聴講学生、修士全科生、修士選科生、修士科目生、博士全科生(集中科目履修生、教員免許更新講習生、共修生、名誉学生は対象外)

利用方法

各館の改札(チケットを切るところ)または券売所で、キャンパスメンバーズ利用の旨を伝え、学生証(有効期限内のもの)を提示の上で入館または観覧券を購入

くわしい内容はホームページにて <http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/members.html>

編 集 後 記

今号の所長座談会は、日々の暮らしの中で役に立つ学問をテーマとした。科学的思考といっても難しい議論をふりまわすのではなく、日々の営みの中でどう生かしていくのがポイントである。これまでずっと読者として「ON AIR」を楽しく読んできた。これがあるから全国津々浦々に展開している放送大学の今の動きがわかる。消費者としてののうとしていたら、お勤め最後の年になって、作る側にまわされた。役職をさぼりにさぼったツケを一挙に払わされた感がある。でも作る側に立って見ると、放送大学は通信制の枠に止まらず、少しずつその手足を大きく伸ばそうとしているように見える。これからは外野にあって、「ON AIR」が届くのを心して待ちたい。(編集委員・御厨貴)

ご意見やご感想をお聞かせください。メールアドレス [editor@ouj.ac.jp](mailto:editor@ouj.ac.jp)

放送大学通信 オン・エア 編集委員(2015年度)

委員長	教授	岸根 順一郎
委員	教授	井出 訓
	教授	御厨 貴
	教授	島内 裕子
	准教授	岡崎 友典
	准教授	芝崎 順司
	准教授	安池 智一
オブザーバー	副学長	小寺山 亘
編集事務担当		総務部広報課



放送大学

<http://www.ouj.ac.jp/> ISSN 1343-3369